

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介します!!

ながさきメーカー

# 長崎 maker

今月のmaker

有限会社 オートチャーム  
代表取締役 宇都 孝志さん

オートチャームが加盟している県クリーニング生活衛生同業組合では、収益金の寄付やゴミの減量などにつなげるために古着の回収を行っています。加盟店を代表して、宇都社長にお話を伺いました。



古着がいっぱい入った回収袋を手に「加盟店だけでなく、いろいろな方々の協力があって活動が成り立っています」とやさしく話すが印象的な宇都社長

宇都社長は創業52年のクリーニング店の2代目。高校を卒業して県外のクリーニング店で学び、長崎に帰ってからも、ずっとこの道一筋です。

そんな宇都社長が古着の回収をはじめたきっかけは、2011年の東日本大震災。「被災地とは対照的に、長崎では不自由なく生活できていることに改めて気づかされ、自分にできることがないかを考えた」と言います。

組合の理事長から古着の回収を通じた支援の話があり、現在3年目、参加加盟店は20社を超えます。お客さんが持ってきた古着は取引がある資材屋さんが運搬し、分別作業を経て、自動車の内装材料などにリサイクルされ、その収益金は



古着回収を行っているクリーニング店は、この織(のぼり)が目印です

「ハタチ基金」に現在全額寄付されています。ハタチ基金とは、東日本大震災発生時に0歳だった子が無事にハタチを迎えられるようにと継続されている支援です。

お客さんの他にも、古着だけを持ってくるかたもいて、「活動に共感して下さる人も多い」とのこと。

「震災にあった子どもたちの助けになるように、変わらず活動を続けていきたい」と、笑顔で話してくれました。

## 学生服を再利用する活動も行っています

オートチャームでは、卒業などで不要になった制服を譲り受け、クリーニングをして必要なかたに渡す活動もしています。



働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

## はたらきびと 輝く働き人



長崎西彼農業協同組合 (JA長崎せいひ)

峰 真之祐 さん

肥料農薬の購買やガソリンスタンドなどの運営のほか、各種ローンや共済などを扱う「JA長崎せいひ」。

三和支店の峰さんは、作っても食べても果物大好きな若手職員です!



### Q1. JA に就職した理由は?



「農家のかたとの触れ合いを通して信頼される職員になりたい」と峰さん

植物が好きで、大学ではサツマイモの病気の研究をしました。実家が農家で、子どものころからなじみのあったJAで、「農家の役に立つ仕事がしたい」と就職。畑に出向くことが多く、いろんな作物のことが勉強できて毎日充実しています!

### Q2. どのような仕事をしているのですか?

びわや花(トルコギキョウ、スイセンなど)を主に関東・関西方面に出荷しています。三和地区は、自慢の「ハウスびわ」の作付面積と収穫量が日本一なんですよ!



### Q3. 仕事の大変なことは? 休日のリフレッシュ法を教えてください。

130人近くいる農家さんごとに、作物や生育状況を覚えることです。



びわの出荷時期になると、出荷作業が朝早いことが少しつらいですね…。

休日は、実家の畑で家族一緒に農作業をします。山や海の景色を眺めながらする作業は楽しいですね。リフレッシュできて、「本当に農業が好きなんだな」って思います。

### Q4. 仕事の目標を教えてください。

専門的な栽培指導ができる「営農指導員」の資格を取ることです。がんばって勉強しています。営農指導員になって、将来は、長崎の作物の知名度や販売高を上げることに貢献したいです。

いつか、「農業は楽しい」と農業の分野でがんばる若者が増えれば、きっと長崎のまちは元気になりますよ。